

2010年度大学入試センター試験 解説〈世界史B〉

第1問 世界史上の都市（配点 25）

問1 1 ②が正しい。

地図中の記号 a は長安， b は洛陽である。②の「街路によって碁盤目状に区画されていた」唐の都長安は，日本の平城京や渤海の上京竜泉府など，周辺諸国の都の造り方の模範とされた。①の劉秀（光武帝）は後漢初代の皇帝で洛陽を都とした。③の竜門の石窟寺院は後漢ではなく，北魏の孝文帝による平城から洛陽への遷都以後，造営された。④三国時代に洛陽を都としたのは，蜀ではなく魏であり，蜀の都は成都，呉の都は建業である。

問2 2 ①が正しい。

地図中の記号 c は開封であり，本問でここに都を置いた王朝とされるのは北宋である。王安石は神宗（位1067～85年）によって宰相に登用され，青苗法や市易法，均輸法などの新法を実施した。青苗法は小農民への穀物・資金の低利貸し付けによる保護政策である。一条鞭法は明代後期の16世紀後半に導入された税制で，地稅・人頭税などを一括して銀納させるものであり，万曆帝の治世に全国的に普及した。徽宗（位1100～25年）は神宗の子で，靖康の変で息子の欽宗などとともに金によって北方へ連行された。

問3 3 ②が正しい。

地図中の記号 d は南京， e は杭州である。②の汪兆銘は，1940年に日本の傀儡政権として南京に国民政府を樹立した。①の辛亥革命の発端は，長江中流域に位置する武昌で起こった蜂起である。③の司馬睿が東晋の都としたのは d で，三国時代の呉の都の建業を建康と改称した。建康は現在の南京である。南宋の都の臨安（杭州， e）と混同しやすいので要注意。④の蔣介石が張学良に監禁された事件は西安事件で，西安は昔の長安である。

問4 4 ③が正しい。

アの高麗の都は開城。開城は現在の北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）のケソンである。イの李朝の都は漢城で，漢陽ともいい，現在の大韓民国の首都のソウル。慶州（金城）は新羅の都で，その郊外には石造多宝塔で有名な仏国寺がある。

問5 ③が正しい。

③の訓民正音（ハングル）は、李朝の第4代国王の世宗（位1418～50年）が、1446年に公布した表音文字で、後にハングル（偉大な文字という意味）と改称された。①の李舜臣は16世紀末の豊臣秀吉による朝鮮侵略（壬辰・丁酉の倭乱）に対し、朝鮮水軍を指揮して日本水軍を破った人物。李朝初代の王は、倭寇の撃退に活躍した李成桂である。②の世界最古の金属活字が作られたのは、13世紀の高麗においてであるが、その材質は不明である。李朝で銅活字が世界で初めて実用化されたことと紛らわしいので、よく区別しておきたい。④の骨品制は新羅の氏族的身分制度である。

問6 ①が正しい。

a・bはいずれも正文。18世紀に関して、aの中国では清朝が特許商人組合である公行に外国貿易を独占させた。とくに乾隆帝は1757年に、貿易港を廣州一港に限定し、公行にのみ外国貿易を許した。公行が廃止されたのは、1842年の南京条約による。bのフランス革命では、国民議会による諸改革の一つとして、ギルドが廃止された。これはやや細かい事柄ではあるが、教科書レベルのものである。

問7 ④が正しい。

④デフォー（1660～1731年）は小説『ロビンソン＝クルーソー』を著し、無人島での一人きりの生活の中で生き抜いていく主人公の姿を通じて、当時のイギリス市民の合理的な精神にもとづく生き方を描いた。①の「夜警」はオランダの画家レンブラントの代表的絵画、②の『失樂園』はイギリスのミルトンによる大叙事詩、③の万有引力の法則の発見は、イギリスの科学者ニュートンによるものである。

問8 ③が正しい。

③のコブデンやブライトらは反穀物法同盟を組織し、穀物法に対する反対運動を展開した結果、1846年に穀物法の廃止が実現した。①イギリスのアダム＝スミスは経済活動における自由放任を主張し、②ドイツのリスト（フリードリヒ＝リスト）は保護貿易による国内経済の保護を主張した。④イギリス東インド会社は1834年に商業活動を停止したが、これは1877年のインド帝国成立以前のことであり、また、会社自体もインド大反乱の最中の1858年に解散した。

問9 ①が正しい。

a・bはいずれも正文。18・19世紀のマンチェスターはaの綿工業が発展してその中心都市となり、bのリヴァプールとの間に1830年に鉄道が開通した。リヴァプールはイギリスにおける奴隷貿易の中心的港市であり、それによるリヴァプール商人たちの巨額の利潤が産業革命の資本を支える重要な一要素となった。また、マンチェスターが必要とする原料の綿花の輸入港、同時にマンチェスターで生産された綿製品の輸出港として、リヴァプールはマンチェスターを支える重要な都市であった。

第2問 世界史上の貨幣 (配点 25)

問1 ①が正しい。

アのリディア (リュディア) はアナトリア (小アジア) にあったインド＝ヨーロッパ語系の国で、ここで前7世紀に世界で最初の鑄造貨幣がつくられた。パルティアはカスピ海南東に成立したイラン系の国で、紀元前3世紀半ばから紀元後3世紀前半まで、約500年近く続いた。イの半両銭はもともと秦で使われていたが、秦王政 (始皇帝) による中国統一の結果、中国の統一貨幣とされた。五銖銭は前漢の武帝によって発行が開始された銅銭で、その後、唐で開元通宝が発行されるまで、中国の基本貨幣としての役割を果たした。

問2 ②が正しい。

②の王羲之は東晋の書家で、書道の大成者。「書聖」と仰がれ、代表的作品に「蘭亭序」などがある。①の韓愈は唐代後半の文学者で、唐宋八大家の一人。魏晋南北朝時代の齊・梁の時代を中心に流行した四六駢儷体を批判し、漢代以前の古文の復興を唱えた。③の「女史箴図」は東晋の画家顧愷之の作。顧炎武は明末清初の学者で、黄宗羲と並ぶ考証学の先駆者。④の昭明太子が編纂したのは『文選』であり、『齊民要術』は北魏の賈思勰が著した現存する中国最古の農業書である。

問3 ②が誤り。

②のツォンカパは14～15世紀の人物で、従来のチベット仏教を改革し、黄帽派 (ゲルク派) を開いた。このツォンカパの弟子が初代のダライ＝ラマとされている。他の選択肢はいずれも16世紀の事項で、①インカ帝国滅亡は1533年、③ポルトガルのマカオ居住権獲得は1557年、④バーブルのムガル帝国建国は1526年である。

問4 13 ④が正しい。

元が発行した紙幣は④の交鈔。交鈔は宋から明までの紙幣の総称として使われる場合もあるが、一般的には金・元の紙幣名として用いられる。元における交鈔の濫発は経済的混乱を引き起こし、元滅亡の一因ともなった。①の布銭（布貨）は、春秋時代後半から戦国時代にかけて韓・魏・趙などで使用された、農具の形を模した青銅貨幣。②の会子は南宋で発行された紙幣、③の交子は北宋で発行された世界最古の紙幣である。なお、明の紙幣は宝鈔と呼ばれた。

問5 14 ③が正しい。

地図中の a は南ドイツのアウクスブルク、b はフィレンツェ。フィレンツェはイタリア中部トスカナ地方の中心都市で、イタリア＝ルネサンスの中心都市でもある。毛織物業、金融業などで繁栄した。大金融業者としてフィレンツェの支配権を握るに至ったメディチ家は、15世紀後半のロレンツォ＝デ＝メディチが当主のときに最盛期を迎えた。ローマ教皇クレメンス7世・レオ10世・フランス王アンリ2世の妃カトリヌおよびアンリ4世の妃マリはいずれもメディチ家出身である。一方、フッガー家はアウクスブルクを本拠地として金融業や銀山経営で繁栄した。

問6 15 ①が正しい。

①の奴隷王朝は1206年にデリーを都に、ゴール朝の部将であったアイバクによって建てられたイスラーム王朝。デリー＝スルタン朝の最初の王朝である。②のソンガイ王国は、15世紀後半に西アフリカに建てられた黒人によるイスラーム王朝。③のブワイフ朝は、10世紀前半にカスピ海の西南地域に建てられたイラン系シーア派のイスラーム王朝で、946年にバグダードに入城してアッバース朝カリフから大アミールの称号を受け、政治的実権を握った。④のヴィジャヤナガル王国は、1336年に南インドに成立したヒンドゥー王国で、1649年に滅亡した。ヴァスコ＝ダ＝ガマが1498年にカリカットに到達したときに、南インドに存在していた王国として記憶しておくると便利である。

問7 16 ②が正しい。

②は1846～48年のアメリカ＝メキシコ戦争（米墨戦争）のことで、これにアメリカ合衆国は勝利して、カリフォルニアやニューメキシコなどをメキシコから獲得した。①のブラジルはスペインからではなく、ポルトガルから独立した。③のアジェンデ政権はペルーではなく、チリで世界史上最初に民主的な選挙の結果として1970年に樹立された社会主義政権であるが、1973年にピノチェトらが指導する軍事クーデタによって倒された。④のキューバは1898年のアメリカ＝スペイン戦争（米西戦争）の結果独立したが、1901年のアメリカによるプラット条項で事実上アメリカの保護国とされた。シモン＝ボリバルは、大コロンビア（後にベネズエラ・コロンビア・エクアドルに分裂）とボリビアを独立させた後、1830年に亡くなっており、アメリカ＝スペイン戦争（米西戦争）とは時代が異なる。

問8 17 ②が正しい。

②のアメリカ合衆国の西部におけるゴールドラッシュは、1848年にカリフォルニアで金鉱が発見されたことによって起こった。①のガーナ王国の交易は銀ではなく、金と塩（岩塩）とを交換した。③のトランスヴァール共和国は南アフリカ（南ア・ブール）戦争に敗れて、フランスにではなくイギリスに併合された。④の世界恐慌に際し、イギリスは金の国外流出を防ぐために、1931年に金本位制を停止した。

問9 18 ②が正しい。

a は正文、b は誤文。a のポエニ戦争は前264年から前146年の間に、前後3回にわたって戦われたが、いずれもローマがカルタゴに勝利し、第3回の戦争の結果、前146年にカルタゴは滅亡した。b のトリポリ・キレナイカからなるリビアはオスマン帝国の領土であったが、1911～12年のイタリア＝トルコ戦争（伊土戦争）の結果、イタリアが植民地として領有した。

第3問 海運について (配点 25)

問1 19 ②が正しい。

②のパガン朝(1044~1299年)はビルマ(ミャンマー)最初の統一王朝で、上座部仏教が広まったが、13世紀末に元の侵入により滅亡した。①のオケオは扶南の外港で、後漢の鏡やローマ帝国の金貨、インドの仏像などが出土している。③のシュリーヴィジャヤは7~14世紀にスマトラ島東南部を中心に存在した王国で、前漢とは時代が大きく離れている。中国では室利仏逝や三仏齊と呼ばれた。唐僧の義浄がインドからの帰路、ここに滞在して旅行記『南海寄帰内法伝』を著したことは有名。④のシャイレンドラ朝が建立した大乘仏教の建造物ボロブドゥールは、マレー半島にではなくジャワ島にある。

問2 20 ①が正しい。

①のアンボイナ(アンボン)事件は1623年にモルッカ(マルク)諸島のアンボイナ島で起こったもので、オランダがイギリス人などを拷問の上、虐殺した事件である。この結果、東南アジアから排除されたイギリスは、インドへの進出に専念することとなった。②のマラッカは1511年にポルトガルが領有し、1641年にはオランダの、さらに1824年にはイギリスの植民地となった。③のアチェ王国はイスラーム教国、④のトゥンゲー(タウンゲー)朝はビルマ(ミャンマー)の王朝である。

問3 21 ③が正しい。

古代ギリシアで軍船として用いられたのは③の三段櫂船で、とくに多数の三段櫂船を保有したアテネはギリシア随一の海軍力を誇った。三段櫂船の乗組員の大半は漕ぎ手であり、アテネではペルシア戦争で漕ぎ手を務めた無産市民の政治的発言力が増していった。①のジャンク船は中国商人が使用した船、②のダウ船はアラビア海やインド洋で主にムスリム商人が使用した船、④の亀甲船は朝鮮王朝の李舜臣が考案したといわれる船上全体を厚板で覆って防御を強化した軍船で、壬辰・丁酉の倭乱で日本水軍を苦しめた。

問4 22 ②が正しい。

②のバグダードは、アッバース朝の第2代カリフのマンスールがティグリス川西岸に建設した新都で、最盛時にはイスラーム世界最大級の都市として繁栄した。①のパルティアは前2世紀半ばにセレウコス朝からメソポタミアを奪い、その後はローマとメソポタミア地方で争った。③のオスマン帝国は、16世紀前半にサファヴィー朝からイラクを奪った。④のポルトガル人をホルムズ島から駆逐したのは、サファヴィー朝の第5代国王のアッバース1世である。

問5 23 ③が誤り。

③のイタリアによるエチオピア併合は1936年で、19世紀という設問の年代条件に該当しない。19世紀末のイタリアによる第1回目のエチオピアへの侵入（1895～96年）は、1896年のアドワの戦いでイタリア軍が大敗して失敗した。他の選択肢の内容はいずれも正しい。①のムハンマド＝アリーによるスーダン征服は1818～20年、②のスエズ運河の完成は1869年で、アメリカ合衆国の大陸横断鉄道の開通と同年である。④のドイツによるカメルーン獲得は、1884年に着手された。

問6 24 ③が正しい。

マムルーク朝を征服したオスマン帝国のスルタンはセリム1世（位1512～20年）。1517年にマムルーク朝を征服したことによって、マムルーク朝が管理下に置いていたメッカとメディナという二つの聖都をオスマン帝国が保護下に置くことになった。これにより、オスマン帝国は名実共にイスラーム世界の盟主の地位に立つことになった。スレイマン1世（位1520～66年）はセリム1世の子で、オスマン帝国最盛期のスルタン。リヤドはかつてはワッハーブ王国の都であり、現在はサウジアラビア王国の首都となっている。

問7 25 ①が正しい。

①のエストニアは第二次世界大戦中の1940年に、ラトヴィア・リトアニアとともに正式にソ連に併合された。②のプガチョフの乱（1773～75年）はエカチェリーナ2世（位1762～96年）の治世に起こり、鎮圧された。③のプロイセンの啓蒙専制君主はフリードリヒ2世（位1740～86年）であり、ヨーゼフ2世はオーストリアの啓蒙専制君主（神聖ローマ皇帝位1765～90年）。④のクヌート（カヌート）のイングランド征服は1016年のことである。なお、イングランド自体は北海に面しており、バルト海沿岸という地理的条件に該当しないが、クヌート（カヌート）はデンマーク出身であり、デンマーク王にもなっているため、この意味では地理的に該当する。

問8 ③が誤り。

③のGATT（関税および貿易に関する一般協定）は保護貿易ではなく、自由貿易を推進するための協定である。1948年1月に発効し、自由・無差別・多角主義を原則として、関税引き下げや貿易制限の撤廃を目指した。95年には、政府間協定に過ぎなかったGATTからの発展として、常設の理事会をもつ国際機関としての世界貿易機関（WTO）が発足した。他の選択肢の内容はいずれも正しい。①の『海洋自由論』は1609年の著作であり、海洋に関する国際法のもととなった。②の航海法は1651年、クロムウェル指導下の共和政政府により制定され、中継貿易を主とするオランダに打撃を与えた。④のフラン＝ブロックは、フランスと、東南アジアやアフリカのフランス植民地との間で形成された。

問9 ②が正しい。

②のオーストリアがフランスと同盟して国際関係の基軸が大きく変わったことは、外交革命と呼ばれる。1756年にオーストリアが長年の宿敵であったフランスと同盟したのは、プロイセンを孤立させ、プロイセンに奪われたシュレジエンを奪回するためであった。これに対して、孤立したプロイセンが先制攻撃を仕掛けて勃発したのが七年戦争（1756～63年）である。①のカナダはフランスからイギリスに割譲された。③のスイスが永世中立国になったのは、ウィーン会議の結果、1815年に調印されたウィーン議定書による。④のアウステルリッツの戦い（三帝会戦）は、1805年に、ロシア・オーストリア連合軍がナポレオン1世のフランス軍に敗れた戦いである。

第4問 民衆の不満や抵抗について（配点 25）

問1 ②が正しい。

②ペーメン（ボヘミア）のフスがコンスタンツ公会議で火刑に処された後、神聖ローマ皇帝ジギスムントに対してフス派が反乱を起こした。これがフス戦争（1419～36年）と呼ばれるもので、結局フス派の中の穏健派とカトリック側の間で和約が成立した。①のシモン＝ド＝モンフォールらが国王に対抗したのは、デンマークではなくイギリス。③のジャックリーの乱はイギリスではなくフランスで起こった。④のジョン＝ボールは、イギリスのワット＝タイラーの乱における思想的指導者である。

問2 29 ③が正しい。

③のコンスタンツ公会議は1414年から1418年まで開かれ、ローマとアヴィニョンとピサに鼎立していた教皇をいずれも退位させ、ローマに新教皇を立てて、教会大分裂（大シスマ）を収拾した。選択肢の中で15世紀に該当する事柄は③のみである。①の教皇と皇帝ハインリヒ4世の叙任権闘争は11世紀後半に起こった。破門されたハインリヒ4世が教皇グレゴリウス7世に謝罪し許されたというカノッサの屈辱は、1077年の事件である。②の教皇庁がアヴィニョンに移されたのは1309年で、以後1377年まで「教皇のバビロン捕囚」が続いた。④のウィクリフは14世紀の人物である。オックスフォード大学の神学教授で、聖書の英訳を行った。

問3 30 ④が正しい。

a・bともに誤文。aのツヴィングリは、スイスのチューリヒで宗教改革を行った人物。ドイツ農民戦争（1524～25年）の指導者はミュンツァーなどである。bのシュマルカルデン同盟は、神聖ローマ皇帝カール5世が一度は容認したルター派を1529年に再び禁止するなど抑圧姿勢に転じたことに反発したルター派諸侯や都市が、1530年に結成した同盟であり、ドイツ農民戦争の終結後の事柄である。

問4 31 ②が正しい。

アに入る年は「1956」であり、この出来事はハンガリー反ソ暴動（ハンガリー事件）である。リード文の次の行にポズナニ（ポズナン）の名が出ていることがヒントになり、ポーランド反政府反ソ暴動（ポズナニ暴動）と同時期であることがわかる。1956年2月のソ連共産党第20回大会でフルシチョフがスターリン批判を行うと、その影響が東ヨーロッパに広がり、自由化や民主化を求める民衆の動きが暴動にまで発展したのである。

問5 32 ①が正しい。

①のヤゲウォ（ヤゲロー）朝が1572年に断絶すると、ポーランドでは選挙王制（選挙王政）となり、中央権力が弱体化して外国の干渉を招くなど、衰退が顕著になった。②の独立の回復は、第一次世界大戦末期に独立宣言がなされ、戦後のパリ講和会議で正式に承認されるまでは実現しなかった。③の第二次世界大戦は、ドイツがポーランドに侵攻することによって始まった。④の「連帯」の指導者で大統領（任1990～95年）に選出されたのはワレサ。コシチュシコ（コシチュシコ）はアメリカ独立戦争に参加し、活躍した。1793年からポーランド分割への反対闘争を指導し、独立回復に努めた。

問6 33 ①が誤り。

①の「ヴ＝ナロード（人民の中へ）」を標語とするナロードニキの運動は1870年代に展開され、土地割り替え制などの相互扶助の要素をもつ農村共同体のミールが、社会主義社会実現の基盤となるとみなされたが、農民の理解は得られなかった。1901年に結成された社会革命党（エス＝エル）は、このナロードニキの流れを汲んでいる。他の選択肢はいずれも1848年に生じた事柄である。②のメッテルニヒはウィーン体制を指導する中心的人物であり、その失脚はウィーン体制の崩壊を象徴している。③のフランクフルト国民議会では、ドイツの統一方式をめぐる大ドイツ主義と小ドイツ主義が対立したが、小ドイツ主義が優位を占めた。④の第二共和政は、二月革命で七月王政を打倒して成立した。二月革命の影響は全ヨーロッパに波及した。

問7 34 ③が誤り。

③の黄巢の乱（875～884年）は唐代末期の大農民反乱で、唐は致命的な打撃を受けた。この反乱軍に加わり、後に唐に帰順して節度使となった朱全忠が哀帝を廃して唐を滅ぼし、後梁を建てた。他の選択肢の内容はいずれも正しい。①の陳勝・呉広の乱（前209～前208年）は中国史上初の農民反乱であった。②の黄巾の乱（184年）は、秘密結社である太平道の教祖張角が指導した。④の明朝の滅亡は1644年のこと。清朝第3代皇帝の順治帝は明の滅亡を機に、中国本土に入り、北京に遷都した。李自成は、まもなく清に降った呉三桂に討たれた。

問8 35 ④が正しい。

a・bともに誤文。寇謙之は北魏の太武帝に重用され、道教を北魏の国教とすることに成功した。寇謙之は道教を大成し、新天師道と呼ばれる道教の一派を開いた。bの全真教は金の王重陽が開いた道教の一派で、儒教、仏教、道教の3つの宗教の調和の上に、禅宗の影響も加わった点に特徴がある。これに対し、正一教（大師道）と呼ばれた従来の道教も、江南を地盤に依然として根強い力をもっていた。

問9 36 ④が正しい。

④の第2次天安門事件（1989年6月4日）は、改革・解放政策を進めたため保守派の反発を招いて1987年に共産党総書記を辞任していた胡耀邦が、89年に死去したことを契機として高揚した民主化運動を、保守派が武力で弾圧した事件である。胡耀邦の後任の共産党総書記であった趙紫陽は、この民主化運動の学生たちに共感を示したことを批判されて総書記を辞任し、代わって江沢民がその後任となった。①の友好同盟相互援助条約は、アメリカ合衆国とではなく、ソ連との間に締結した。②のプロレタリア文化大革命は毛沢東が起こし、劉少奇や鄧小平が失脚した。③の日中平和友好条約は1978年に締結されたが、日中の国交正常化は1972年の日中共同声明の調印により、すでに実現されていた。